



公明党 近藤 芳宏 10
市民相談充実に土業活用を

問 行政書士が市職員と同様に電話等で受付や各種専門相談への案内とさまざまな対応を行っている事例もある。土業のさらなる活用をどう考えるか。

答 市民部長 広聴課には市民相談の電話以外にも、市政への意見、窓口対応への苦情等のさまざまな電話が入ってくる。こうしたことから、現在の組織体制のもとでは電話等

での受付は市政全般に通じた職員が行う必要があると考えている。今後、市民相談の充実に向けて、土業の方の専門知識の一層の活用について、他市の状況等も参考にしながら、研究していきたいと考えている。

問 市民相談窓口の充実
答 健康マイレージの導入



公明党 大泉 一夫 11
伊佐沼公園の現状について

問 伊佐沼公園は伊佐沼に隣接し、緑と水辺と児童遊具が備わっていて多くの方が利用するが、車イス利用者には不便であるため市の現状認識を伺う。

答 都市計画部長 伊佐沼公園は、フィールドアスレチック、芝生広場、野外ステージ、ジャブジャブ池などがあり、休日には子ども連れの家族やバーベキューを楽しむ人々

で賑わっている。森林浴を楽しめる未舗装の遊歩道は、自然を感じられる風致公園の魅力の一つであるが、車イスの方が移動に不便に感じることもあるため、改めて、現地

の状況を確認し、不便が生じないよう努めていきたいと考えている。

問 公園の設置目的と整備
答 川越駅西口のイベント



政晴会 樋口 直喜 12
評価・改善の見える化を

問 評価・改善の見える化のために、市民から寄せられた意見への対応について、代表事例だけでなく、その他の意見や進捗状況も公開すべきでは。

答 市民部長 市民から寄せられた意見について、代表事例に限らず、意見内容や回答、進捗状況を公開し共有することは、施策、事業への市民の理解を得るためにもメリッ

トがあると考えている。そのためには、公開に向けた個人情報取り扱い等、一定のルールの策定や、事務作業を補完するための情報システムの活用が必要となることから、先進市を参考にす

るなど、広聴実績の開示のための検討を行う。



自由民主党 海沼 秀幸 13
結婚サポート事業の導入

問 地元地域のボランティア活動として、結婚支援に関する情報提供、お見合いの紹介等の結婚サポート事業導入に関し、どのように考えるか？

答 総合政策部長 規模の小さな自治体で、地域コミュニティが充実した環境のもとで導入が進んでいる。本市での導入は、

人情報の管理等といった課題がある。婚活に係る情報や取り組みは民間にも数多くあるが、行政が主体となる場合は利用者が安心して利用でき、結果として良い成果が得られる効果も考えられることから、先進事例を参考に今後研究していきたい。

問 落雷対策
答 水害対策
問 婚活支援の取り組み



自由民主党 吉野 郁恵 14
企業版ふるさと納税の活用

問 財源としての流れを呼び込むことができる、企業版ふるさと納税の活用について、どのように考えているのか。

答 総合政策部長 税制上の優遇があるとはいえ、企業の負担が生じることや、寄附に対する企業の考え方、対象事業との関わりなど、さまざまな状況を踏まえて企業が判断することから、寄附を募

ることはそう容易なことではないと考えている。しかしながら、総合戦略に掲げた事業の実現を目指すにあたり、財源確保の方策の一つとして有効と考えられることから、本市の事業に対する企業版ふるさと納税に理解が得られるよう積極的にPRに努めていきたい。

問 新たな農業振興の取組
答 企業版ふるさと納税



市民フォーラム 牛窪 多喜男 15
焼米橋の再建について

問 平成28年8月からの工事で、橋げたをのせるためのコンクリート製の橋台を築造することとある。今後のスケジュールについて伺う。

答 建設部長 予算との関わりもあるが、来年度以降に、橋げたの設置、階段やスロープ、護岸などの工事を実施する予定であり、河川内の作業を伴うことから、非出水期に

工事を実施する。これらの工事が順調に進捗した場合には、おおむね平成30年の夏ごろには供用できるものと考えている。

問 焼米橋の再建
答 荒川の洪水対策

